別添1-1

**提案書作成上の注意**

1. 提案書類の様式

提案書の記載に当たっては、以下の点に留意し、次々頁以降の記載例に従って、日本語で作成してください。なお、資料中に英語の図表を利用することや一部に英語の参考資料等を活用することは可能です。

・イタリック体（青字）で記載されている注意事項等を熟読して記載してください。

・記述項目は、削除・追加しないでください。

（イタリック体（青字）で書かれている注意事項等は削除してください）

・項目間の行間は適宜変更してください。

・本書の末尾に、「審査項目と提案書の比較参照リスト」があります。こちらを適宜参照・追記して作成ください。

・内容が判読し易い字体とし、大きさは 10.5 ポイントを基本としてください。

・提案書の下中央にページを入れてください。

・記述内容は、簡潔明瞭を旨とし、積極的に図、写真、グラフ等を使用して、わかりやすく説明するようにしてください。

・次々頁以降の記載例中の表や線表部分はExcel等他のファイル形式で作成し、資料中に貼り付けて頂いても結構です。（転記ミスにより、異なる形式の表としないようご注意ください）

・専門用語はなるべく使わず、平易な文章を心がけ、専門用語等については注釈を付す等、わかりやすく記載してください。

２．提出書類

　　公募要領「3. 応募方法　(1)提出期限及び提出方法、(3)提出書類」を参照ください。

３．提案書類の受理

（１）応募資格を有しない者の提案書類、または提出された提案書類に不備がある場合は、受理できません。

（２）提出された提案書を受理した際には代表法人連絡担当者宛に提案受理のメールを送付いたします。

４．提案書類に不備があった場合の取扱い

提案書に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。その場合は書類をＮＥＤＯで破棄させていただきます。

５．秘密の保持

提案書（その他添付書類を含む）は、本研究開発の実施者選定のためにのみ用い、ＮＥＤＯ及び経済産業省商務情報政策局（以下、商務情報政策局）で厳重に管理します。

６．その他

（１）提案は、一機関の単独、又は複数機関等の共同のいずれでも結構です。ただし、研究機関等による単独提案は不可とします。詳細は、経済産業書の定める研究開発計画を参照してください。

（２）採択に当たって条件（提案した再委託は認めない、他の機関との共同研究とすること、再委託研究としての参加とすること、委託額の減額　等）を付す場合があります。採択決定後、契約締結に至る段階で、研究内容及び予算計画に関してＮＥＤＯから詳細な検討をお願いした上で実施計画を確定していきます。

（３）再委託、共同実施を行う場合には、３－５.再委託先・共同実施先の選定理由に、理由等を記載してください。

（４）委託先選定に係る審査は、受理した提案書類、添付資料等に基づいて行いますが、必要に応じて商務情報政策局またはＮＥＤＯからヒアリングや資料の追加等を複数回お願いする場合があります。

（５）新規に委託契約を締結するときは、最新の業務委託契約約款と、研究開発計画に記載された内容を担保するための特別約款を付した業務委託契約を締結して頂きます。また、委託業務の事務処理は、ＮＥＤＯが提示する事務処理マニュアルに基づき実施していただきます。

契約約款：<http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

委託事業に係るマニュアル等：<http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

（６）受理した提案書類、添付資料等は返却できませんのであらかじめご了承ください。

（７）本事業予算により資産を購入した場合は、委託先は、業務委託契約に基づき委託事業期間終了後、有償により、ＮＥＤＯ帰属資産をＮＥＤＯから譲り受けることとなっています。その際の価額は、事業終了日の残存価額となります。（約款第20条の2第1項・第3項）。

*（提案書記載例）*

[表　紙]

**「*ポスト５Ｇ情報通信システム基盤強化研究開発事業／計算資源の高度化に向けた研究開発（委託）【ＧＸ】*」に対する提案書**

*○○*年*○○*月*○○*日

提案テーマ名

「*○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○の研究開発*」

*■提案するテーマの件名を記載してください。*

上記の件について貴機構の事業を実施したく、下記の代表者名で提案させて頂きます。

|  |  |
| --- | --- |
| 法人名 | 代表者の役職・氏名 |
| *○○○○○株式会社* | *代表取締役社長　○○　○○* |
| *国立大学法人○○大学* |  |
|  |  |

*■代表者は、企業の場合は代表権のある方とします。*

*■共同提案を行う場合は、共同提案者（再委託先・共同実施先除く）の「法人名」・「代表者の役職・氏名」もすべて記載してください。*

*■採択・不採択通知の宛名になりますので、役職・氏名に誤りの無いよう十分ご留意願います。*

【代表法人連絡先】

法人名　*○○○株式会社*

所　属　*○○○部　△△△課*

役職名　*○○○○○部長*

氏　名　*○○　○○*

所在地　*○○県○○市・・・・・・（郵便番号○○○－○○○○）*

*※連絡先が所在地と異なる場合は、連絡先所在地を記載*

ＴＥＬ　*△△△△－△△－△△△△（代表）　内線　△△△△*

*※日中連絡がつく連絡先を記載*

E-mail　*\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\**

*■共同提案を行う場合、代表法人の連絡先を記載してください。なお、代表法人以外の各法人に連絡等を取る場合もございますので、各法人の連絡先については、提案書本文の「管理者」欄に記載してください。*

[本文]

研究開発テーマ「○○○○○の研究開発」

***・****研究開発テーマ名は、研究開発の内容がわかりやすいテーマ名を記載してください。*

*・共同提案を行う場合、以下の項目を事業者毎に記述してください。*

*・共同提案の場合は、代表事業者を一番上に記述してください。*

*・共同提案の場合、本表紙は、同じ内容のものを事業者毎に作成、提出頂いても結構です。その場合、代表事業者がわかるように記述してください。*

１．研究開発の内容及び目標

１－１．研究開発の内容

（１）研究開発の概要、背景、必要性等

*・提案技術に係る研究開発の産業・社会ニーズ等の背景、必要性（国プロとしての実施の必要性含む）、技術開発課題、解決方法、産業社会への波及効果等の概要を簡潔に記載ください。*

*・併せて、提案事業の概要に係る説明図を記載してください。研究開発の概要に加え、開発の成果がどのように将来的に社会実装され、産業社会の革新をもたらすかに係るイメージも併せて記載してください。*

*・提案者が保有するコア技術の特徴、強み、提案の新規性等について、併せて記載ください。*

（２）全体計画

*・研究開発の全体計画に関して、提案する研究開発が研究開発計画に基づいているか、解決しようとする課題に対してどのような開発をしていくのか、共同提案の場合は、各者の技術資産と研究開発の役割、海外企業等との連携体制等がわかるように記載してください。*

*・研究開発の全体計画を一覧表にまとめてください。*

*・最終目標は、研究開発計画に記載された応募する開発テーマの開発目標に対応する目標とし、2025年x月に事業を開始して2030年x月までに当該目標を達成する計画にしてください。*

*・提案する実用化・事業化目標を達成するにあたり、研究開発計画で設定した予算規模を超える研究開発費が必要となる場合であって、予算規模を超える費用を自己負担することを実施者が誓約する場合は、当該実施者の自己負担による実施項目についても記載ください（原則として、政府予算により実施する実施項目と、自己負担による実施項目は、「実施項目」あるいは「サブ実施項目単位」で切り分けて記載ください。）。ただし、自己負担を記載した場合、研究開発計画４．（４）に定める差額返還の対象となります。*

*（記載例）*

*【○○○○○の研究開発】*

*[研究開発の全体計画]*

*○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○*

*研究開発の全体計画の一覧表（記載例）*

*マイルストーンはできる限り定量的かつ達成状況が客観的に判断できる記載にしてください。*

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | *担当* | *2024年度* | *2025年度* | *2026年度* | *2027年度* | *2028年度* | *2029年度* |
| ***１．○○○技術の研究開発***  ***２．□□□チップの研究開発***  ***３．◇◇◇システムの研究開発***  ***４．×××システムの研究開発*** | ***A社***  ***A社***  ***B社***  ***A社*** | ***マイルストーン*** |  | ***中間目標***  ***＊＊＊の***  ***組込み*** | ***＊＊＊の***  ***提供***  ***システム検証*** | ***最終目標*** |  |

（３）実施項目毎の内容及び目標

*・上記（２）の全体計画に沿って、適宜「図表」などを挿入しつつ、実施項目毎の研究開発の内容を極力具体的に記載してください。また、専門用語はなるべく使わず、平易な文章を心がけ、必要に応じ、注釈を付す等、分かりやすく記載下さい。*

*・「１－２．研究開発の目標」を達成するために解決すべき技術的問題とそれを解決する手法について、従来から一般的に行われている方法と比較するなどして、わかりやすく説明してください。*

*・想定される課題の具体的な解決策を提示するとともに、提案者が競合他者の技術に比べ優位性を有することを、明確な数値目標として提示してください。*

*・国立研究開発法人または公益法人が応募する場合は、そのプロジェクトの技術分野において、技術的な優位性を有することを明記してください。また、当該法人が事業期間中に分担する業務内容、当該担当業務はＮＥＤＯが実施するよりも当該法人が担当した方が効率的で、優れた成果を得られることが期待できる理由、事業終了後の実用化・事業化に向け当該法人が担う役割等について併せて記載してください。*

*・再委託先等（再委託先又は共同実施先）の実施内容があれば、それぞれの役割分担を明確に説明してください。また「３-５．再委託先・共同実施先の選定理由」の項に再委託（又は共同実施）理由及び内容を記載してください。*

*・国立研究開発法人から民間企業への再委託又は共同実施（再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く。）は、原則認めておりません。*

*・当該委託業務の全部又は一部について、技術研究組合等が代表して応募する場合、参画する各企業等及び組合等のそれぞれの役割分担を明確に記載してください。*

*・研究開発の計画を簡潔に一覧表にまとめてください。*

*例：*

*実施項目1【＊＊＊＊＊＊の研究開発】(担当:○○社)*

*[研究開発の内容]*

*・年度ごとの実施内容が分かるように記載してください。*

*・マイルストーンはできる限り定量的かつ達成状況が客観的に判断できる記載にしてください。*

*○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○*

【一覧表】*（記載例）*

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ***実施項目（○○社）*** | ***2025年度*** | ***2026年度*** | ***2027年度*** | ***2028年度*** | ***2029年度*** | ***2030年度*** |
| ***1. ○○○○技術の研究開発***  ***1-1. ◇◇◇の開発***  ***1-2. △△△の開発***  ***1-3. □□□の開発***  ***1-4. ×××の開発*** | ***マイルストーン*** | ***マイルストーン***  **＊＊＊**  **＊＊＊** | ***目標***  ***マイルストーン***  **＊＊＊**  **＊＊＊** | **＊＊＊**  ***目標*** | ***目標***  ***マイルストーン***  ***目標*** |  |

１－２．研究開発の目標、設定根拠

（１）研究開発目標

*・研究開発計画に記載された開発目標を満たすことを前提としつつ、「１－１.研究開発の内容」（２）に記載した実施項目毎の目標及びその達成時期を具体的かつ簡潔に記述してください。研究開発の目標と現状の技術水準との比較を可能な限り、数値化してください。*

*・研究開発計画における開発目標との合致、対応状況を記載してください。*

*・実施項目毎に年度毎の目標（マイルストーン）を必ず設定し、記述してください。また、上述の一覧表にも記述してください。特に本事業では、毎年度進捗評価を行うため、各年度において達成すべきマイルストーンを明記すると共に、実用化・事業化を見据えた研究開発を推進する観点から、中間段階でその後の進め方を評価できるよう研究計画を作成してください。マイルストーンは達成度を評価できるよう具体的、定量的に記載してください。*

*・中間時点（2.5年）よりも前にステージゲート審査を行う場合は、その時期および目標を設定してください。*

*・共同提案の場合、それぞれの目標等を明示してください。*

*（記載例）*

*【目標】*

1. *提案事業の中間目標（事業開始から2.5年経過時点）*

|  |  |
| --- | --- |
| *提案事業の中間目標* |  |

1. *追加のステージゲート審査の目標 ( 年　 月)*

|  |  |
| --- | --- |
| *追加のステージゲート審査の目標* |  |

1. *提案事業の最終目標（事業開始から5年経過時点）及び研究開発計画との合致*

|  |  |
| --- | --- |
| *経済産業省　研究開発計画中の最終目標* | (経済産業省の研究開発計画書の開発目標を転記すること) |
| *提案事業の最終目標* |  |

1. *実施項目毎の目標の詳細*

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| *No* | *実施項目* | *担当* | *中間目標*  *（202x年x月）* | *最終目標*  *（202x年x月）* | *目標の設定根拠* |
| *1* | *○○○技術* | *A社* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* |
| *2* | *□□□チップ* | *A社* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* |
| *3* | *◇◇◇システム* | *B社* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| *No* | *実施項目* | *担当* | *2025年度* | *2026年度* | *2027年度* | *2028年度* | *2029年度* |
| *1* | *○○○技術* | *A社* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* |
| *2* | *□□□チップ* | *A社* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* |
| *3* | *◇◇◇システム* | *B社* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* | *○○○○○○○…* |

*中間時点（2.5年）よりも前にステージゲート審査を行う場合は、実施項目毎に追加のステージゲートの目標を設定してください。*

（２）研究開発目標の設定根拠

*・本研究開発の目標が国内外の既存技術の性能や競争相手の性能と比較して優位であることを客観性のある数値で説明する等により、上記目標の妥当性を明示してください。*

*・自社の技術だけでなく、従来技術や他社技術も性能等が向上していくことを考慮に入れたうえで、本研究開発技術が将来的に優位性を持つことの見通しを記載してください。*

*・当該技術の世界における競争力についてRA（Run After）、DH（Dead Heat）、LD（Leading）で記載してください。*

*・対象市場は、別添４ 研究開発成果の事業化計画書（別紙）に記載する対象市場と合わせてください。*

競合技術、既存技術との比較表***（記載例）***

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 技術名称 | ベンチマーク時期 | 年月 | ***性能①***  ***（○○）*** | ***性能②***  ***（○○）*** | ***品質・機能等の強み*** | ***コスト(/y)*** | ***全体市場規模*** | ***獲得市場規模*** | ***市場シェア*** | 総合評価（LD、DH、RA） |
| ***提案技術***  ***（技術の名称）*** | 本技術（現状） | 20xx/ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 本技術(事業終了時） | ***20\*\*/\**** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 本技術(実用化時点） | ***20\*\*/\**** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 成果普及段階 | ***20\*\*/\**** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ***A社〇〇技術（競合技術の名称）*** | 本技術（現状） | 20xx/ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 本技術（事業終了時） | ***20\*\*/\**** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 本技術（実用化時点） | ***20\*\*/\**** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 成果普及段階 | ***20\*\*/\**** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ***C社〇〇技術（既存技術）*** | 本技術（現状） | 20xx/ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 本技術（事業終了時） | ***20\*\*/\**** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 本技術（実用化時点） | ***20\*\*/\**** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 成果普及段階 | ***20\*\*/\**** |  |  |  |  |  |  |  |  |

１－３　我が国の経済活性化への貢献

*本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済活性化にいかに貢献するかについて、バックデータ（※）も含め、具体的に説明してください。*

*（※）上記の基礎となる主要なバックデータ（背景、数値等）*

２．成果の実用化・事業化に向けた計画

*【記載要領】*

* *成果が産業へ及ぼす波及効果、研究開発成果を実用化・事業化（※）する計画、実用化・事業化時期、提案者の実用化・事業化能力及び戦略等を踏まえつつ、以下の各項目に従って記載してください。*

*（※）ここでいう「実用化・事業化」とは、当該研究開発に係る試作品、サービス等の社会的利用（顧客への提供等）が開始されること、又は当該研究開発に係る商品、製品、サービス等の販売や利用により、企業活動（売り上げ等）に貢献することを意味し、業務委託契約約款第27条の「事業化計画」も含むものとします。*

* *応募時点での計画を記載ください。なお本提案が採択となった場合、採択後に、当初の内容から著しく変更が生じる場合には、NEDOに変更内容を提出していただきます。変更にあたっての内容に関するNEDOへの説明の必要有無など、別途NEDOと協議していただく場合があります。*
* *共同提案の場合には、どの様に連携し実用化・事業化を進めるのかの全体構想を記載しつつ、各事業者の役割分担を明確にした上で、まとめて記載してください。大学等の研究機関は、当該事業の成果を実用化・事業化へと繋げるために企業との連携方針や成果移管に関する具体的な戦略や取組を記載してください。*
* *共同提案の場合で、共同提案する他の事業者〈代表法人等〉に記載内容を公開したくない事業者がいる場合には、当該事業者の公開したくない情報を除いた上で提案書を提出し、NEDO担当者からの提案書受理メールの受領後、当該メール送付者に当該事業者分の情報を記載した書類（当該事業者分の「２．成果の実用化・事業化に向けた計画」が記載された書類）の送付をお願いいたします。なお、送付の際は、件名を「【申請受付番号】\_成果の実用化・事業化に向けた計画（当該事業者名）の送付」としてください。*

（１）実用化・事業化を行う製品・サービス等の概要

①内容

*製品・サービス等の内容や、事業の成果が、当該製品・サービスへどのように反映されるか記載してください。*

②製作・実施等の制約

*製品・サービス等の製作・実施にあたって、必須となる材料等の調達先（国、企業、産地等）や制約等、サプライチェーン上の立ち位置等を記載してください。*

③用途（販売予定先）

*当該製品・サービスの想定される販売ルート（国、地域含む）、販売先等を記載してください。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載してください。また、自らが実用化・事業化するのではない場合には、どの様な形で製品・サービスが実用化されることを想定しているのかについて記載願います。*

（２）実用化・事業化への取組

①実用化・事業化に向けた計画等

*事業終了後5年間までの実用化・事業化を目指し実施する開発計画（開発拠点、実用化・事業化に必要な国内外機関との連携や体制構築含む）、投資計画（製造拠点含む）、実用化・事業化能力等を記載願います。*

*また、当該委託で行われる技術開発の内容以外で並行して行われるべき知財・標準化等のオープン・クローズ戦略や、その他実用化・事業化のために必要な技術開発内容や、製品設計内容等の検討状況も具体的に記載し、どの様に達成するかについても併せて記載願います。*

②実用化・事業化を考えるに至った経緯（動機）

*実用化・事業化開発を目指した背景等について具体的に記載願います。〈事業者における研究計画、事業計画等に基づき、どの様な背景で研究開発に取り組み、実用化・事業化を目指すに至ったのか記載願います。〉*

③事業として成功すると考える理由

事業の新規性、独創性、他との競争力、実用化・事業化までに想定される課題とその解決方法、市場における差別化・優位性（知財・標準の活用等）の見込みなど具体的に記載してください。

④グリーントランスフォーメーション（ＧＸ）の実現に向けた研究成果の社会実装へのコミットメントの状況

実用化・事業化計画について申請者内の経営陣、販売部門など関連する事業部の責任者等との現時点でのコミットメント状況について記載願います。

(i)組織内の事業推進体制

*前述の事業化計画を進めるための組織内の経営者以下の体制と役割分担を網羅的に記載（研究開発を担う部門だけでなく、事業化に関与する部門も明記し、関与する専任・併任の人員規模の想定を記載）*

*確実な社会実装を実現する上で、事業化戦略を研究開発段階から見据えて取り組むことが求められるため、事業化担当部門と連携した実施体制を構築し、体制図に記載*

*部門間の連携を図るための具体的な方策（定期的に部長レベルで相互の進捗報告を行う、経営者直轄の専門組織を設置する等）を記載*

1. 組織内体制図

*例：*

***XX部***

***J部長***

***（事業化/標準戦略***

***担当）***

***連携***

***チームA***

***①XXXを担当***

***チームリーダーG***

***チームB***

***②XXXを担当***

***チームリーダーH***

***チームC***

***③XXXを担当***

***チームリーダーI***

***代表取締役社長 aa aa***

***（事業にコミットする経営者）***

***XX本部***

***E本部長***

***（研究開発責任者）***

***XX部  
F部長***

***連携***

***D部***

***XXXを担当***

***連携***

1. 組織内の役割分担

*例：*

*研究開発責任者と担当部署*

* *研究開発責任者*
  + *E本部長：XXXを担当*
* *担当チーム*
  + *チームA：①XXXを担当（専任○人、併任○人規模）*
  + *チームB：②XXXを担当（専任○人、併任○人規模）*
  + *チームC：③XXXを担当（専任○人、併任○人規模）*
  + *D部（F部長）：XXXを担当（専任○人、併任○人規模）*
* *チームリーダー*
  + *チームリーダーG：XXX等の実績*
  + *チームリーダーH：XXX等の実績*
  + *チームリーダーI：XXX等の実績*

*事業化/標準戦略担当*

* + *J本部長*

*部門間の連携方法*

* *XXX*
* *XXX*

(ii) 経営戦略における事業の位置づけ

*事業の経営課題としての優先度と中長期的な企業価値向上に向けた取組を示すため、具体的取組内容を記載してください。*

*※以下に示した項目はあくまで例示であり、個社の事情に即して、記載内容を整理してください。*

*例：*

* *経営戦略への位置づけ、事業戦略・事業計画の決議・変更*
  + *XXX  
    （ＧＸの実現に向けて、本提案に関連する事業戦略又は計画を明確に経営戦略に位置づけ、取締役会で意思決定しているか。その内容を社内の関連部署に広く周知するか）*
  + *XXX  
    （事業の進捗状況や課題を取締役会等でモニタリングし、事業環境の変化等に応じて見直しを行うか）*
  + *XXX  
    （上記で決議された事業戦略・計画において、本提案が不可欠な要素として、優先度高く位置づけられるか）*
* *コーポレートガバナンスとの関連付け*

XXX  
（上記の経営戦略や事業戦略・計画が目指す成果にも関連して、どのように取締役の選任、評価、報酬等が設定されているか）

⑤実用化・事業化のスケジュール

*「①実用化・事業化に向けた計画等」で記述した内容を踏まえ、事業終了後5年間の想定される実用化・事業化計画を、生産・販売・市場獲得などの具体的な実用化・事業化の段階に区分し、実用化・事業化の各段階が明瞭となるよう線表、矢印、記号等を用いて記述してください。*

*なお、プロジェクト実施期間中から実用化・事業化を開始する計画がある場合には、その年度から計画を記述してください。*

*実用化・事業化の各段階において、実用化・事業化の中断や延期など、実用化・事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記述してください。また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記入してください。*

*生産・販売の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。*

*【記載例】*

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| *年度* | *年度* | *年度* | *年度* | *年度* | *年度* |
| ***製****品設計*  *○○設計完了▲*  ***▲Tuki***  *設備投資*  *生産*  *販売*  *収益発生* | *▲○○億円*  ***▲Tuki***  *▲サンプル出荷開始*  ***▲Tuki*** | *▲○万台／月****uki*** | *▲生産開始*  ***▲Tuki***  *▲○万台／月uki*  *第２生産ライン立ち上げ▲*  ***▲Tuki***  ***◇続行/***  *▲○万台／月****uki*** | *▲○○億円*  ***▲Tuki***  *▲○万台／月****uki***  ***中断を判断***  *▲○万台／月****uki*** |  |

*予想される重大な障害：*

*製品設計段階 ：～～～～～～*

*設備投資段階 ：～～～～～～*

*生産段階 ：～～～～～～*

*販売段階 ：～～～～～～*

1. オープン＆クローズ戦略等

*研究開発成果の社会実装に向けて、標準戦略等（オープン＆クローズ戦略や社会実装の確度を高めるための取組を含む事業戦略）に関して、国内外の動向等とともに、具体的な取組内容を記載ください。*

(ⅰ)国内外の動向・自社の取組状況

*国内外の標準化、知財、規制対応等の動向等について記述してください。また、これまでの自社による標準化、知財、規制対応等に関する取組等について記述してください。*

(ⅱ) 本事業におけるオープン＆クローズ戦略、社会実装の確度を高めるための具体的な取組内容

*（例１）オープン戦略*

*※バリューチェーン、ニーズの喚起、仲間作りの方法、実証方法やユーザー獲得方法など*

*（例２）クローズ戦略*

*※技術領域、競合、知財による勝ち筋など記載*

*（例３）エコシステム*

*※どのような協業、アライアンスにより、サプライチェーンを構築し、社会実装を高めていくかなど*

1. 対象事業に係る知財、ノウハウ等の保有状況と今後の計画

*想定事業において提案者の強みの基盤となる特許、ノウハウ、データ等の保有状況について説明ください。また、提案事業を通じて生み出す予定の特許、ノウハウ、データ等の内容について、説明ください。*

【基盤となる取得特許、ノウハウ等の保有状況】

（特許等知財の保有状況に係る説明表の例）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特許等の名称 | 出願番号  （出願日、登録日等（公開、公告、登録のうち最新のもの）） | 特許等の内容 | 出願人 | 発明者 | 係争の  有無 |
| ○の装置  （特許取得済） | 特許第▲▲号  （登録日H▲．▲．▲） | ○○○○・・・ | ◇◇株式会社 | ○○太郎  ○○次郎 | 無し |
| △の方法  （審査請求中） | 特願××××－××××××  （H▲．▲．▲） | ○○○○・・・ | ◇◇株式会社 | ○○太郎 | 無し |

（ノウハウ、データ等、知財以外の保有状況に係る説明表の例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 | 内容 | 保有者 |
| ○○○○に係るデータ解析アルゴリズムと○○○○に係る実データの蓄積 | ○○○○・・・ | ○○○ |
| ○○の装置を用いた○○の製造技術ノウハウ | ○○○○・・・ | ○○○ |

【提案事業により生み出す主な取得特許、ノウハウ等】

（特許等知財の保有状況に係る説明表の例）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特許等の名称 | 出願内容（想定） | 出願人 | 発明者 |
| ○の装置  （特許取得済） | ○○○○・・・ | ○○○ | ○○○ |
| △の方法  （審査請求中） | ○○○○・・・ | ○○○ | ○○○ |

（ノウハウ、データ等知財以外の保有状況に係る説明表の例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 | 内容 | 保有者 |
| ○○○○に係るデータ解析アルゴリズムと○○○○に係る実データの蓄積 | ○○○○・・・ | ○○○ |
| ○○の装置を用いた○○の製造技術ノウハウ | ○○○○・・・ | ○○○ |

（３）市場の動向・競争力、経済活性化への貢献

①市場規模（現状と将来見通し）／産業創出効果

*・実用化を目指す製品・サービスに関する世界全体と国内、海外における申請者の売上高（百万円）と申請者シェアについて、現状と将来の想定を示し、その根拠を記述してください。*

*・記載に当たっては、別添4（Excel版）の【記載方法】をご参照頂いた上で、別添4（Excel版）と整合的な内容となっていること（以下に記載する売上高が別添4（Excel版）の売上高と一致していること　等）を必ず確認してください。*

*・別添4（Excel版）と同様に、原則として、2023～2024年度及び2030～2033年度の各年度時点の売上高と申請者シェアについて、それぞれ記載してください。なお、もし研究開発が2025年度～2029年度中に終了する場合には、研究開発終了年度からの売上高と申請者シェアについても、記載してください。*

*申請者の売上高(世界／国内／海外)* *申請者シェア(世界／国内／海外)*

*2023年度　　○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円　　○○％／○○％／○○％*

*2024年度　 ○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円　　○○％／○○％／○○％*

*2030 年度　　 ○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円 　○○％／○○％／○○％*

*2031年度　　○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円　　○○％／○○％／○○％*

*2032年度　　○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円　　○○％／○○％／○○％*

*2033年度　　○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円　　○○％／○○％／○○％*

*市場規模算出の根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～*

*売上高算出の根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～*

*シェア見通しの根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～*

*費用対効果の指標の算出式と設定値：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～*

*※申請者シェアは、業界で一般的に利用されている市場調査レポートや提案者が把握している市場規模に基づき、申請者の売上高を市場規模で除して算出ください。また、海外の売上高については想定する平均的な為替レートを置いて算出の上、前提としたレートを記載ください。これら元となる前提条件についても併せて説明を記載下さい。*

*※システム技術開発の開発テーマについては、研究開発計画に定める研究開発費返還制度の対象になります。*

（４）実用化・事業化の実施体制図

①国内外に有する研究開発拠点、製造拠点等

*・提案者が国内外に有する研究開発拠点及び本研究開発成果に係る主な製造拠点等（サービス・メンテナンス、営業拠点を含む）について、国内、国外で分けて記載ください。非常に多数存在する場合は国単位や県単位、拠点種別の単位で集約して記載することも可能です。*

【国内拠点】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 名称 | 所在地（都道府県、市町村） | 拠点開始の年 | 拠点の役割 |
| 1 | 〇〇研究所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇に係る次世代技術の研究開発 |
| 2 | 〇〇工場 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇の製造 |
| 3 | 〇〇事業所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇のアフターサービス、メンテナンス拠点 |
| 4 | 〇〇営業所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇の営業拠点 |

【国外拠点】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 名称 | 所在地（都道府県、市町村） | 拠点開始の年 | 拠点の役割 |
| 1 | 〇〇研究所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇に係る次世代技術の研究開発 |
| 2 | 〇〇工場 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇の製造 |
| 3 | 〇〇事業所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇のアフターサービス、メンテナンス拠点 |
| 4 | 〇〇営業所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇の営業拠点 |

②実用化・事業化の実施体制図

*・研究開発成果を海外に広く展開する観点から、国内及び海外（米国、欧州、アジア等）での実用化・事業化体制についても記載ください。事業化に当たり、提案者／提案者コンソーシアム以外の主体との連携関係がある場合は併せて記載ください。*

*・当該研究開発の成果による商品、製品、サービス等において想定するビジネスモデル、エコシステムが具体的に分かるよう、関係する事業主体やステークホルダー（例：デバイスメーカ、セットメーカ、システムメーカ、サービス事業者、ファイナンス機関等）の繋がりと各者の役割分担を含め、分かりやすくフローチャート形式等で図示して記載ください。*

*・また、それぞれの事業主体の収支を簡単に記載し、お金の流れを見える化し、実際にビジネスとして成り立つモデルなのかを記載ください。そのうち、特に提案者がどこでどのように儲けるつもりなのかがわかるように記載ください。*

３．実施体制

３－１． 研究開発統括責任者（研究開発統括責任者候補（・研究開発統括副責任者候補））

（１）研究開発統括責任者候補

*【記載要領】*

*「研究開発統括責任者候補」とは、本提案全体の研究開発の代表となる責任者（1名）を指します。以下の【記載例】の通りで、記載してください。必要に応じ、統括副責任者を置く事は可能ですので、置く場合は併せて記載してください。また、別添資料に沿って研究経歴書も作成してください。*

*【記載例】*

*法人名　○○○株式会社*

*所属・役職　○○○部　氏名　○○　○○*

*電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*　E-mail*

（２）共同提案者の代表研究者

Ａ社

　　　所属・役職 氏名　○○　○○

　　　電話　\*\*\*-\*\*\*-\*\*\*\* E-mail

Ｂ大学

　　　所属・役職 氏名　○○　○○

　　　電話　\*\*\*-\*\*\*-\*\*\*\* E-mail

*(注)各共同提案者の代表研究者について記載してください。*

（３）再委託先・共同実施先の代表研究者

Ｃ社

　　　所属・役職 氏名　○○　○○

　　　電話　\*\*\*-\*\*\*-\*\*\*\* E-mail

Ｄ大学

　　　所属・役職 氏名　○○　○○

　　　電話　\*\*\*-\*\*\*-\*\*\*\* E-mail

*(注)各再委託先、共同実施先の代表研究者について記載してください。*

（４）実用化・事業化責任者

所属・役職 氏名　○○　○○

電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線） E-mail

*(注)実用化・事業化責任者とは、本提案書全体の研究開発成果の実用化・事業化に対して責任を負う企業等において組織的に当該業務の責任を担うことができる者（少なくとも担当部署における所属長以上）であり、かつ、採択となった場合は提案プロジェクトの成果全体の実用化・事業化の責任者となる者を指します。実施項目毎に実用化・事業化に対して責任を負う企業等が異なる場合は、項目毎に記載することも可能です。また実用化・事業化責任者については別添の様式に沿って実用化・事業化に係る職務経歴等を提出してください。採択後の研究成果の実用化・事業化に向けた取組・方針決定等は、当該責任者が主導し、研究開発実施段階から積極的に実用化・事業化に向けた取組を行っていただきます。*

３－２．管理者

*【記載要領】*

*・管理者（研究開発責任者、経理責任者、事務担当窓口）について、以下の【記載例】の通りで、記載してください。共同提案の場合は、法人毎に記載してください（再委託先・共同実施先分も含む）。*

*・研究開発責任者」とは、本提案における研究開発を遂行する際の責任者です。「研究開発統括責任者候補」と同一人物でも構いません。なお、研究開発責任者は、別添資料に沿って研究経歴書も作成してください。*

*・「経理責任者」とは、NEDO委託費の執行を管理する責任者です。経費発生調書の記載、発生経費に係る証拠書類の整理等を行います。*

*・「事務担当窓口」とは、本事業の窓口となる人です。研究開発責任者と同一人物でも構いません。*

*【記載例】*

*（〇〇株式会社）*

*研究開発責任者　　：　所属　○○○○○部○○課 氏名　○○　○○*

*電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線） E-mail*

*経理責任者　　　　：　所属　○○○○○部○○課 氏名　○○　○○*

*電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線） E-mail*

*事務担当窓口　　　：　所属　○○○○○部○○課 氏名　○○　○○*

*電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）E-mail*

*（〇〇大学）*

*研究開発責任者　　：　所属　○○○○○部○○課 氏名　○○　○○*

*電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線） E-mail*

*経理責任者　　　　：　所属　○○○○○部○○課 氏名　○○　○○*

*電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線） E-mail*

*事務担当窓口　　　：　所属　○○○○○部○○課 氏名　○○　○○*

*電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）E-mail*

３－３．実施体制図

*【記載要領】*

*・本研究開発の実施体制について、次のような図(Wordの図（ビットマップでなく）にまとめてください。共同提案の場合、各提案者の役割が分かるよう記載してください。提案者以外の協力機関（外注先などは除く）があれば、あわせて記載ください。*

*・国外企業等と連携する、又はその予定がある場合には体制図に記載するとともに、当該国外企業等が連携している、もしくは関心を示していることを表す資料をあわせて提出してください*。

*【記載例】*

「＊＊＊＊の研究開発」実施体制

研究開発統括責任者

・所　属

・役職名

・氏　名

指示・協議

ＮＥＤＯ

委託

実用化・事業化責任者

・所　属

・役職名

・氏　名

（代表事業者）

○○技術研究組合

・研究実施場所：

○○センター（東京）

・実施項目：

○○技術の開発

*（組合員企業、大学等名記載）*

【研究分担先(組合員名)】

Ａ大学

・研究実施場所：

○研究室（つくば）

・実施項目：

○○評価技術

○○研究所

・研究実施場所：

○○センター（お台場）

・実施項目：

○○評価技術

○○株式会社

・研究実施場所：

○○センター（大阪）

・実施項目：

○○技術の開発

再委託

○○大学（仙台）

△△技術

○○大学（千葉）

＊＊技術

*（注）機関ごとに、研究実施場所、実施項目を記載すること*

３－４．研究実施場所

*【記載要領】*

*提案された研究開発を実施する場所とその場所を選定した理由を記載してください。研究開発の実施する場所に海外が含まれる場合は、その必要性含めて記載してください。*

*【記載例】*

|  |  |
| --- | --- |
| *研究実施場所* | *選定理由* |
| *〇〇研究所* |  |
| *△△株式会社（〇〇事業所）* |  |
| *□□大学（□□研究室）* |  |

*（一部を本邦外で実施する場合、その理由を記載してください。）*

３－５．再委託先・共同実施先の選定理由

*再委託先等（再委託先、共同実施先等）がある場合は、再委託先等毎に再委託等を行う合理的理由、再委託等される業務を履行する能力、再委託額等、委託又は助成の額に占める各年度の再委託額等の割合（提案者が複数の場合は、委託元1者に対する再委託費の割合）等を記載してください。*

*なお、再委託経費（複数者に再委託する場合は、複数者への再委託費の合計）は原則として再委託経費は全体の50 %未満です。（提案者が複数の場合は、委託元１者に対する再委託費の割合とします。但し、年度毎にこの割合を満たす必要はありません。）再委託先・共同実施先が無い場合、「該当無し」と記載ください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 再委託元 |  |
| 再委託先の名称 | *○○大学　○○学部　○○学科　○○　○○教授* |
| 再委託先の住所等 |  |
| 再委託を行う合理的理由 | *連名契約による場合と比べて、特に効率が高い理由を含めること。* |
| 再委託を行う業務範囲 |  |
| 再委託予定金額と委託費総額に対する割合（事業期間全体における割合） | 円（　　　％） |
| 備考 |  |

*備考：この表は再委託先毎に作成してください。*

４．当該技術又は関連技術の研究開発実績、資産処分の計画

（１）当該提案に有用な研究開発実績

*【記載要領】*

*・提案する方式又は方法に関する国内外の状況、その中での提案者の本研究開発若しくは本研究開発の円滑な遂行に資する関連研究開発の実績等を、**研究発表等を引用して記載するなどして、携わる全ての機関（再委託先及び共同実施先含む。）を対象に記載してください。なお、再委託先・共同実施先分については、「３-５. 再委託先・共同実施先の選定理由」と内容に重複があっても構いません。*

*・国立研究開発法人又は公益法人については、当該技術分野において技術的な優位性を有すること、及び本研究開発に携わる必要性を明記してください。*

*【記載例】*

|  |  |
| --- | --- |
| *機関名* | *当該提案に有用な研究開発実績* |
| *〇〇大学* |  |
| *△△株式会社* |  |
| *□□研究所（再委託先）* |  |
|  |  |

(２) 当該提案に使用する予定の現有設備・装置等の保有状況

*【記載要領】*

*本研究開発を進めるに当たって必要と考えられる主な設備の中で、提案者が保有する設備状況とその用途を記載してください。保有予定の設備等については、自費で購入予定のもののみ記載してください。*

*【記載例】*

|  |  |
| --- | --- |
| *設備名称（保有者）* | *内容*  *（使用目的・仕様等を記入してください）* |
| *〇〇装置（〇〇大学）* |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（３）事業終了後の資産処分について

*・事業において取得する資産・設備の名称、数量、取得予定日（年月）、取得予定価格、事業終了時の処分方法の希望、当該処分とする理由、処分時の簿価（減価償却後の額）の想定について以下の様式にそれぞれ記載し、それら設備全体の取得予定価格と事業終了時簿価の合計金額も記載してください。なお、予算・積算に係る項目の記載内容と整合を取って記載してください。詳細は委託業務事務処理マニュアル中の「資産」に関する項目を参照してください。*

・*本事業予算により資産を購入した場合は、委託契約期間終了時に約款に基づき有償で買い取ることが必要となります。処分先（譲渡先）は現時点で存在する法人としてください。なお、事業期間の中間・途中段階で事業終了となった場合、当該時点における簿価で有償で買取りいただくこととなりますので、予めご了承ください。*

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資産名称 | 数量  型式 | 取得予定日（年月） | 取得予定価格 | 処分方法 | | | 当該処分方法とする理由 | 譲渡価格（有償譲渡の場合） | 処分先  （譲渡先） |
| 有償譲渡 | 無償譲渡 | 廃棄等 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

５．予算の概算

*【記載要領】*

*別添資料の「様式：積算用総括表」を活用し、エクセルシートを図形式で貼り付けするなどして、以下の表を作成してください。*

1. （１）研究開発予算と研究員の年度展開

*・各実施項目について、どのような手順で行い、どの程度の経費が必要であるかがわかるように、以下のような一覧表にまとめてください。*

*・共同提案の場合、担当毎に提案された実施項目及び必要経費を分けて記入してください。*

*・参考のため、研究計画スケジュールを表す線の下の（　）内には、その年度に投入される研究員の人数を記入してください。*

受託者

*（記載例）*

* 単位：百万円
* （　）内は人数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | *担当* | *2025年度* | *2026年度* | *2027年度* | *2028年度* | *2029年度* | *2030年度* | 計 |
| *１．○○○技術の研究開発*  *２．□□□チップの研究開発*  *３．◇◇◇システムの研究開発*  *４．×××システムの研究開発* | **＊＊＊　 ＊＊＊**  *A社*  ***（＊）　 （＊）　 （＊）***  *A社*  ***（＊）　 （＊）　 （＊）***  *B社*  *A社* | ***（＊）　 （＊）　 （＊）　 （＊）***  **＊＊＊　 ＊＊＊　 ＊＊＊** | **＊＊＊　 ＊＊＊** |  |  |  | ***（＊）　 （＊）　 （＊）　 （＊）***  **＊＊＊　＊＊＊　 ＊＊＊** | **＊＊＊**  ***（＊）***  **＊＊＊**  ***（＊）***  **＊＊＊**  ***（＊）***  **＊＊＊**  ***（＊）*** |
| *合計* |  | **＊＊＊　＊＊＊　 ＊＊＊ 　＊＊＊** | ***（＊）　 （＊）　 （＊）　 （＊） （＊）　 （＊） （＊）*** |  |  |  | **＊＊＊　 ＊＊＊　 ＊＊＊** |  |

*（注）*

*１．消費税は、実施項目毎に内税で計上してください。また、日本国以外に本社又は研究所を置く外国企業等において、その属する国の消費税相当額がある場合にも実施項目毎に含めて計上してください。*

*２．提案に当たっての参考として、当該年度予算×事業期間が一つの目安として想定されますが、提案者が基本計画に沿ってプロジェクトを遂行するために必要な研究開発費を計上してください。*

*３．予算規模は社会・経済状況・研究開発費の確保状況等によって変動することがあり、総事業費規模についてはＮＥＤＯが確約するものではありません。*

1. （２）予算の概算

***・研究開発に必要な経費の概算額を、業務委託費積算基準***（[*https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024\_3yakkan\_gyoumu.html*](https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024_3yakkan_gyoumu.html)*）*,*大学等の場合は（*[*https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024\_3yakkan\_daigaku-gyoumu.html*](https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024_3yakkan_daigaku-gyoumu.html)*）に定める経費項目に従って、記載してください。*

*・最終的な実施内容及び委託金額については、審査の結果及び政府予算や方針の変更等により提案額から減額して委託することがあります。後年度の事業規模についても、事業の進捗、成果の事業化の見通し等を踏まえ、必要に応じ、配分額の再調整を行うため、当初計画から変動することがあります。*

*・別添資料の「様式：積算用総括表」を活用し、エクセルシートを図形式で貼り付けするなどして、以下の①総括表、②委託先／研究分担先／分室総括表、③再委託先／共同実施先総括表、④項目別明細表を作成してください。*

記入スペースが足りない場合は、分割して、事業期間における経費を記載してください。期間も列を拡張してください。

1. 総括表

*・研究開発に必要な経費の概算額を総括してください。*

*・以降の表はWordの表になっていますが、提案書では、Excelシートの埋め込みとし、計、合計等のセルは、数値記載でなく計算式にしてください。*

①－１　総括表（事業開始から初回契約終了時(ステージゲート)まで）

* （単位：円、消費税及び地方消費税込み）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 委託先名 | 再委託先名・  共同実施先名 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 小計 |
| *１．●●株式会社* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うち*  *再委託* | *株式会社□□* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *うち*  *再委託* | *国立大学法人□□大学* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *うち*  *共同実施* | *学校法人▽▽大学* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *２．国立大学法人★★大学* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うち*  *再委託* | *学校法人△△大学* | *（\*\*,\*\*\*）* | *（\*\*,\*\*\*）* | *（\*\*,\*\*\*）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *実施項目①合計（１．＋２．）* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *１．▲▲▲株式会社* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うち*  *再委託* | *株式会社□□□* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *うち*  *再委託* | *国立大学法人□大学* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *うち*  *共同実施* | *学校法人▽大学* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *２．国立大学法人　★★★大学* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *実施項目②合計（１．＋２．）* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *合計　実施項目①＋実施項目②* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うち消費税及び地方消費税* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うちＮＥＤＯ負担総額* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うちＮＥＤＯ負担消費税等額* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |

*（注）再委託先又は共同実施先は、委託先の契約金額の内数として、再委託先等の金額（消費税込）を(　)書きで記載してください。*

①－２　総括表（初回契約終了後から事業終了まで）

（単位：円、消費税及び地方消費税込み）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 委託先名 | 再委託先名・  共同実施先名 | 2027度 | 2028年度 | 2029年度 | 2030年度 | 小計 | 全期間  合計 |
| *１．●●株式会社* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うち*  *再委託* | *株式会社□□* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *うち*  *再委託* | *国立大学法人□□大学* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *うち*  *共同実施* | *学校法人▽▽大学* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *２．国立大学法人★★大学* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うち*  *再委託* | *学校法人△△大学* | *（\*\*,\*\*\*）* | *（\*\*,\*\*\*）* | *（\*\*,\*\*\*）* | *（\*\*,\*\*\*）* | *（\*\*,\*\*\*）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *実施項目①合計 （１．＋２．）* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *１．▲▲▲株式会社* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うち*  *再委託* | *株式会社□□□* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *うち*  *再委託* | *国立大学法人□大学* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *うち*  *共同実施* | *学校法人▽大学* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* | *（\*\*,\*\*\*）（注）* |
| *２．国立大学法人★★★大学* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *実施項目②合計 （１．＋２．）* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *合計 実施項目①＋実施項目②* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うち消費税及び地方消費税* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うちＮＥＤＯ負担総額* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| *うちＮＥＤＯ負担消費税等額* | | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |

*（注）列は初回契約終了年度に応じ、適宜変更してください。*

② 委託先／研究分担先／分室総括表

*高額装置を購入する場合は概要と用途を追記してください。*

ア．企業等の場合

*研究開発に必要な経費の概算額を研究開発テーマ毎に、業務委託費積算基準*（[*https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024\_3yakkan\_gyoumu.html*](https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024_3yakkan_gyoumu.html)*）に定める経費項目に基づいて記載してください。*

*下記表はWordの表になっていますが、提案書では、Excelシートの埋め込みとし、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、小計、合計、総計のセルは、数値でなく、計算式にしてください。*

記入スペースが足りない場合は、分割して、事業期間における経費を記載してください。期間も列を拡張してください。

●●株式会社

* 単位：円

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 合計 |
| Ⅰ．機械装置等費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| １．土木・建築工事費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ２．機械装置等製作・購入費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ３．保守費・改造修理費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| Ⅱ．労務費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| １．研究員費 | *\*,\*\*\** | *\*,\*\*\** | *\*,\*\*\** | *\*,\*\*\** | *\*,\*\*\** |
| ２．補助員費 | *\*\*.\*\*\** | *\*\*.\*\*\** | *\*\*.\*\*\** | *\*\*.\*\*\** | *\*\*.\*\*\** |
| Ⅲ．その他経費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| １．消耗品費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ２．旅費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ３．外注費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ４．諸経費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| 小計（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ） | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| Ⅳ．間接経費*（注１）* | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| Ⅴ．再委託費・共同実施費*（注２）* | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| 合計（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ＋Ｖ）*（注３）* | *\*,\*\*\*,\*\*\** | *\*,\*\*\*,\*\*\** | *\*,\*\*\*,\*\*\** | *\*,\*\*\*,\*\*\** | *\*,\*\*\*,\*\*\** |
| 消費税及び地方消費税*（注４）* | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** |
| 総計 | *\*,\*\*\** | *\*,\*\*\*,\*\*\** | *\*,\*\*\*,\*\*\** | *\*,\*\*\*,\*\*\** | *\*,\*\*\*,\*\*\** |

*（注）*

*１．間接経費率は、中小企業等は20％、その他は10％とし、Ⅰ～Ⅲの経費総額に対して算定してください。なお、技術研究組合等の間接経費率は、当該組合の組合員の3 分の2 以上が中小企業で構成されている場合は20％、構成比率が3 分の2 未満の場合は10％とします。ただし、研究分担先である組合員（企業、大学等）が、その組合員単位で経理処理を行う場合は、組合毎に事業者種別により間接経費率（大学・国研等：30％、中小企業等：20％、その他：10％）を設定することができるため、Ⅳには組合員毎の間接経費の総計を記載ください。技術研究組合における研究分担先の経理処理の考え方については、委託業務事務処理マニュアルを参照してください。*

*２．大学との共同実施費は大学の積算基準を基に「Ⅴ．再委託費・共同実施費」に計上してください 。消費税は除いた額を記入してください。*

*３．合計は、Ⅰ～Ⅴの各項目の消費税を除いた額の総額を記載してください。*

*４．応募者が消費税の免税事業者等※の場合は、「エ．消費税の免税事業者等の場合」に記載してください。*

*※消費税の課税事業者となるか免税事業者となるかについては、具体的には国税庁のホームページ等に記載がありますが、様々な要件で判定されるため、不明な場合は税理士等に御確認ください。また、国又は地方公共団体等が一般会計に係る業務として行う事業については、免税事業者と同様の取扱いとします。*

*５．「国民との科学・技術対話」に係る費用（アウトリーチ活動費）については、委託業務事務処理マニュアルを参照してください。*

イ．国立研究開発法人等※1の場合

※1：国立研究開発法人及び独立行政法人

*国立研究開発法人等の場合は、国立研究開発法人等の積算基準に従って総括表を作成してください。*

*「業務委託費積算基準（国立研究開発法人等）」：（*[*https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024\_3yakkan\_daigaku-gyoumu.html*](https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024_3yakkan_daigaku-gyoumu.html) *参照）*

*下記表はWordの表になっていますが、提案書では、Excelシートの埋め込みとし、Ⅰ、合計、総計のセルは、数値でなく、計算式にしてください。*

記入スペースが足りない場合は、分割して、事業期間における経費を記載してください。期間も列を拡張してください。

国立研究開発法人●●●●

* (単位　円)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 合計 |
| Ⅰ．直接経費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| １．備品費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ２．消耗品費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ３．人件費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ４．光熱水費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ５．旅費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ６．その他 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| Ⅱ．間接経費*(注１)* | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| Ⅲ．再委託費・共同実施費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| 合計（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ） | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| 消費税及び地方消費税 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| 総　　計 | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** |

*（注）*

*１．国立研究開発法人等の間接経費は、Ⅰの直接経費に対して原則30%で算定してください。*

*２．「国民との科学・技術対話」に係る費用（アウトリーチ活動費）については、委託業務事務処理マニュアルを参照してください。*

*３．特別約款により異なる委託費積算基準を適用する場合は、該当の項目に書き換えてください。*

*４．リサーチアシスタント等の身分を持つものを研究員として登録することができます。詳しくは、委託業務事務処理マニュアルを参照してください。*

ウ．大学等※2の場合

※2：国公立大学法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人

*・大学等の場合は、大学用の積算基準に従って総括表を作成してください。*

*「業務委託費積算基準（大学）」：（*[*https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024\_3yakkan\_daigaku-gyoumu.html*](https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024_3yakkan_daigaku-gyoumu.html)*参照）*

*・下記表はWordの表になっていますが、提案書では、Excelシートの埋め込みとし、Ⅰ、合計、総計のセルは、数値でなく、計算式にしてください。*

記入スペースが足りない場合は、分割して、事業期間における経費を記載してください。期間も列を拡張してください。

●●大学

* (単位　円)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 合計 |
| Ⅰ．直接経費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| １．物品費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ２．人件費・謝金 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ３．旅費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ４．その他 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| Ⅱ．間接経費*(注１*) | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| Ⅲ．再委託費・共同実施費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| 総計（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）*（注２）* | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** |
| うち消費税及び地方消費税 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |

*（注）*

*１．大学の間接経費は、Ⅰの直接経費に対して原則30%で算定してください。*

*２．大学の場合はＩ．～総計まで内税額を記載してください。*

*３．「国民との科学・技術対話」に係る費用（アウトリーチ活動費）については、委託業務事務処理マニュアル（大学用）を参照してください。*

*４．リサーチアシスタント等を研究員として登録することができます。詳しくは、委託業務事務処理マニュアルを参照してください。*

エ．消費税の免税事業者等（注１）の場合

*・消費税の免税事業者等の場合は、その項目の内容に応じて課税される額（注２）を記載してください。*

*・研究開発に必要な経費の概算額を研究開発テーマ毎に、委託費積算基準（*[*https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024\_3yakkan\_gyoumu.html*](https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024_3yakkan_gyoumu.html)*参照）に定める経費項目に基づいて記載してください。*

*・下記表はWordの表になっていますが、提案書では、Excelシートの埋め込みとし、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、小計、合計、総計のセルは、数値でなく、計算式にしてください。*

記入スペースが足りない場合は、分割して、事業期間における経費を記載してください。期間も列を拡張してください。

●●株式会社

* （単位　円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 合計 |
| Ⅰ．機械装置等費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| １．土木・建築工事費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ２．機械装置等製作・購入費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ３．保守費・改造修理費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| Ⅱ．労務費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| １．研究員費 | *\*,\*\*\** | *\*,\*\*\** | *\*,\*\*\** | *\*,\*\*\** | *\*,\*\*\** |
| ２．補助員費 | *\*\*.\*\*\** | *\*\*.\*\*\** | *\*\*.\*\*\** | *\*\*.\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| Ⅲ．その他経費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| １．消耗品費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ２．旅費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ３．外注費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| ４．諸経費 | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| 小計（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ） | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| Ⅳ．間接経費*（注３）* | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** | *\*\*,\*\*\** |
| 総計（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ） | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** | *\*\*\*,\*\*\** |

*（注）*

*１．消費税の課税事業者となるか免税事業者となるかについては、具体的には国税庁のホームページ等に記載がありますが、様々な要件にて判定されるため、不明な場合は税理士等にご確認ください。また、国又は地方公共団体等が一般会計に係る業務として行う事業については、免税事業者と同様の取扱いとします。よって、非（不）課税取引に係る消費税相当額については、課税計上出来ません。*

*２．労務費、海外旅費等のように不課税の項目の場合は消費税抜き額を、その他の課税の項目の場合は消費税込み額を計上してください。*

*３．間接経費率は、中小企業等は20％、その他は10％とし、Ⅰ～Ⅲの経費総額に対して算定してください。なお、技術研究組合等の間接経費率は、当該組合の組合員の3 分の2 以上が中小企業で構成されている場合は20％、構成比率が3 分の2 未満の場合は10％とします。ただし、研究分担先である組合員（企業、大学等）が、その組合員単位で経理処理を行う場合は、組合毎に事業者種別により間接経費率（大学・国研等：30％、中小企業等：20％、その他：10％）を設定することができるため、Ⅳには組合員毎の間接経費の総計を記載ください。技術研究組合における研究分担先の経理処理の考え方については、委託業務事務処理マニュアルを参照してください。*

*４．「国民との科学・技術対話」に係る費用（アウトリーチ活動費）については、委託業務事務処理マニュアルを参照してください。*

③ 再委託先／共同実施先総括表

*再委託・共同実施先の種別（企業等・国立研究開発法人等・大学等・免税事業者等）に応じて、ア～エの各様式を準用し、作成してください。その際、「再委託費・共同実施費」「うちＮＥＤＯ負担額」「うちＮＥＤＯ負担消費税等額」の欄は不要です。*

④ 項目別明細表

*【記載要領】*

*・提案者毎に「②委託先／研究分担先／分室総括表」の積算根拠となる予算明細表を年度毎に作成してください。作成にあたっては、別添資料の「様式：積算用総括表」中の「項目別明細表」様式を活用の上、作成してください。*

*・再委託先・共同実施先分については本提案書上で作成は不要ですが、審査の過程で積算根拠について確認させていただく場合もございますので、この表に準じて項目別明細表を作成してください。*

*・あくまで提案時点の予算明細を伺うものであり、採択後、契約締結や検査時などで精査した結果、経費として計上が認められない場合もございますので、あらかじめご承知おきください。*

*【記載例】*



６．類似の研究開発及び研究費の応募・受け入れ状況

（１）現に実施あるいは応募している公的資金による類似の研究開発

*【記載要領】*

*・現に実施あるいは応募している公的資金による類似の研究開発がある場合には、以下の【記載例】に沿って、その制度名、事業概要及び本提案との差異等について説明してください。（再委託先・共同実施先分も含みます）。*

*・該当が無い場合には、表は削除の上、「該当無し」と記載してください。*

*【記載例】*

|  |  |
| --- | --- |
| 配分機関名 | *▲▲省* |
| 制度名 | *○○○○補助金* |
| 事業者名 | *◇◇株式会社* |
| 研究期間 | *年　月　日　～　　年　月　日* |
| 予算額（受入研究費額） | *○○○○円* |
| 事業概要  （目標・成果） | *簡潔かつ明瞭に記述してください。* |
| 本提案との差異 | *本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。重複がある場合はその旨記入ください。*  *※重複がある提案中又は提案予定の事業が採択（あるいは採択予定）となった場合は、遅滞なく、NEDOへその旨連絡ください。* |

（２）現に実施している自己資金による類似の研究開発

*【記載要領】*

*・本提案の研究開発と並行して類似の自社研究を続ける場合には、その研究概要、目標（性能等）を明らかにしてください。また、受託を希望している研究と類似する自社研究を明確に区別できることを説明してください。（再委託先・共同実施先分も含みます）*

*・該当が無い場合には、「該当無し」と記載してください。*

（３）その他の研究費の応募・受入状況

*【記載要領】*

*・「競争的研究費の適正な執行に関する指針」（以下、「指針」という）に基づき、応募された研究課題が研究費の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題の遂行に係るエフォートを適切に確保できるかどうかを確認するために、研究開発統括責任者候補及び各法人の研究開発責任者（再委託先・共同実施先分も含む）について必要な情報を求めることとしています。*

*・研究開発統括責任者候補及び各法人の研究開発責任者（再委託先・共同実施先含む）が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の公的資金以外のその他の研究費（国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、現在の全ての研究費であって個別の研究内容に対して配分されるもの（※）。）の状況（配分者名、制度名、研究課題、実施期間、予算額、エフォート）を【記載例】に沿って、記入してください。*

*（※）「その他の研究費」の範囲は、「指針」において「所属する機関内において配分されるような基盤的経費又は内部資金、商法で定める商行為及び直接又は間接金融による資金調達を除く」、とされています。民間企業については、会社法第５条において、会社がその事業としてする行為及びその事業のためにする行為は商行為とする、と規定されています。従って、民間企業同士の共同研究や受託開発などは商行為に該当し、指針における「その他研究費」には含まれません。また、民間企業が社債・株式を発行して、証券市場を通じて調達した資金や、銀行などの金融機関からの借り入れで調達した資金も、「その他研究費」には含まれません。*

*・ただし、既に締結済の秘密保持契約等の内容に基づき、NEDOや採択審査委員、共同提案する他の事業者〈代表法人等〉に情報開示が困難な場合など、やむを得ない事情により具体的な記載が難しい場合は、エフォートのみ提出でも可能です。この場合においても必要に応じて所属機関に照会を行うことがあります。*

*・研究開発統括責任者候補及び各法人の研究開発責任者が申請時に記載する役職以外で、他機関における役職がある場合は、機関名・役職（兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。）に関する情報を【記載例】に沿って、記入してください。*

*・研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、研究開発統括責任者候補及び各法人の研究開発責任者が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づき、所属機関に適切に報告をしている旨の誓約を【記載例】に沿って、記入してください。*

*・記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。*

*・公募要領に記載の「「不合理な重複」及び「過度の集中」の排除」も併せてご参照ください。*

*【記載例】*

①研究開発統括責任者候補：*○○株式会社　○○　○○（氏名）*

【研究費】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 相手機関名  （国名） | 制度名/研究課題名 | 受給/契約  状況 | 研究期間 | 予算額  （受入研究費額） | ｴﾌｫｰﾄ  (％) |
| *○○省（日本）* | *××補助金/△△の開発* | *契約中* | *2023.4*  *－2025.3* | *000,000千円* | *10* |
| *○○財団（日本）* | *××事業/△△の開発* | *申請* | *2021.4*  *－2025.3* | *000,000千円* | *10* |
| *××株式会社*  *（米国）* | *■■の要素技術開発* | *契約中* | *2018.4*  *－2023.3* | *000,000千円* | *20* |
| *―* | *―* | *―* | *―* | *―* | *15* |

【所属機関・役職】

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 | 役職 |
| *○×研究所* | *主任研究員* |
| *○○大学* | *名誉教授* |
| *××株式会社* | *顧問* |

【誓約】

「*○○株式会社　○○　○○（氏名）*」は、上記に示す研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づきに適切に所属機関に報告していること、誓約いたします。

②研究開発責任者：*△△大学　○○　○○（氏名）*

【研究費】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 相手機関名  （国名） | 制度名/研究課題名 | 受給/契約  状況 | 研究  期間 | 予算額  （受入研究費額） | ｴﾌｫｰﾄ  (％) |
| *○○省（日本）* | *××補助金/△△の開発* | *契約中* | *2023.4*  *－2025.3* | *000,000千円* | *10* |
| *○○財団（日本）* | *××事業/△△の開発* | *申請* | *2021.4*  *－2025.3* | *000,000千円* | *10* |
| *××株式会社*  *（米国）* | *■■の要素技術開発* | *契約中* | *2018.4*  *－2023.3* | *000,000千円* | *20* |
| *―* | *―* | *―* | *―* | *―* | *15* |

【所属機関・役職】

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 | 役職 |
| *○×研究所* | *主任研究員* |
| *○○大学* | *名誉教授* |
| *××株式会社* | *顧問* |

【誓約】

「*△△大学　○○　○○（氏名）*」は、上記に示す研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づきに適切に所属機関に報告していること、誓約いたします。

③研究開発責任者：*□□研究所　○○　○○（氏名）*

【研究費】

　・・・

７. その他

（１）契約に関する合意

*【記載要領】*

*・NEDOから提示する契約書（案）に合意することが実施要件となります。*

*・【記載例】の青字部分を書き換えてください。共同提案の場合は、共同提案者全ての代表者（再委託先・共同実施先は除く）からの合意を得た上で、『「○○株式会社○○　○○（代表者氏名）」、「□□株式会社○○　○○（代表者氏名）」及び「○○　○○（代表者氏名）」は、・・』と記載してください。*

*・万が一、契約書（案）について疑義がある場合には、その旨記載するとともに、その内容を示す文書をあわせて提出ください。個別に説明させていただきます。*

*【記載例】*

　「*○○株式会社○○　○○（表紙に記載の法人としての代表者氏名）*」は、本提案テーマの契約に際して、NEDOから提示された契約書（案）に記載された条件に基づいて契約することに異存がないことを確認した上で提案書を提出します。また、業務の実施においては、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づいて行います。

（２）本提案書及びその他提出書類に記載された技術情報の確認

*【記載要領】*

*・公募要領の「特許出願の非公開に関する制度の留意点」に記載の通り、特許出願の非公開に関する制度を考慮し、記載・添付する技術情報の取扱いにご注意ください。提案書及びその他提出書類中の技術情報の記載について確認をした後、【記載例】の文章を必ず記載してください。*

*・なお、これにより、提案の内容を十分に説明できない場合には、「対象となる技術内容について別途説明を希望する。」旨を併せてご記載ください。*

*【記載例】*

　本提案書及びその他提出資料中には、保全対象発明の内容、特許庁における一次審査又は内閣府における保全審査中であって特定技術分野と関係し得る特許出願の詳細な技術情報、及び、出願予定の技術情報であって特定技術分野と関係し得る詳細な技術情報については記載されていません。

審査項目と提案書の比較参照リスト

*・左2列に審査項目を記載しています。提案書上の対応する記載がどこにあるか（参照先）に記載ください。*

*・既に青字で記載している参照先は、NEDO側で想定している記載箇所となりますので、適宜削除・追記し活用ください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 審査大項目 | 審査小項目 | （参照先）  ここを読んでください |
| **ⅰ.提案技術の評価** | **研究開発計画との合致性** | ***・提案書本文＞［本文］ 　　１-１. 研究開発の内容***  ***１-２.研究開発の目標、設定根拠（２）研究開発目標根拠*** |
| 提案内容の**新規性** | ***・提案書本文＞［本文］ 　　１-１. 研究開発の内容 ・提案書本文＞［本文］ 　　２．成果の実用化・事業化に向けた計画*** |
| 目標とする技術レベルの**難易度**・到達時の**優位性** | ***・提案書本文＞［本文］***  ***１-１. 研究開発の内容 　　１-２. 研究開発の目標、設定根拠＞　競合技術、既存***  ***技術との比較表 　　２．成果の実用化・事業化に向けた計画*** |
| 提案開発の**実現可能性** | ***・提案書本文＞［本文］ 　　１-１. 研究開発の内容***  ***（２）全体計画***  ***（３）実施項目毎の内容及び目標*** |
| **提案額・実施期間の妥当性** | ***・提案書本文＞［本文］ 　　１-１. 研究開発の内容（２）全体計画 　　5.予算の概算*** |
| **ⅱ.提案者の能力評価** | **開発実績** | ***・提案書本文＞［本文］ 　　4．当該技術又は関連技術の研究開発実績、資産***  ***処分の計画***  ***（1）当該提案に有用な研究開発実績***  ***（2）当該提案に使用する予定の現有設備・装置等***  ***の保有状況 6．類似の研究開発及び研究費の応募・受け入れ状況*** |
| **実施体制の妥当性** | ***・提案書本文＞［本文］ 　　３. 実施体制 　　３－５．再委託先・共同実施先の選定理由 ・研究開発統括責任者候補及び研究開発責任者の研究***  ***経歴書*** |
| 財務能力（経理的基礎）、経理等事務管理/処理能力 | ***・別添３　企業情報 ・直近の事業報告書【あれば】 ・直近３年分の財務諸表【あれば】*** |
| **ⅲ.実用化・事業化の評価** | 想定する**市場規模** | ***・提案書本文＞［本文］ 　　１-２. 研究開発の目標、設定根拠＞　競合技術、　　　　　　既存技術との比較表 　　２．成果の実用化・事業化に向けた計画*** |
| 実用化・事業化**計画の具体性** | ***・提案書本文＞［本文］***  ***２．成果の実用化・事業化に向けた計画*** |
| 実用化・事業化**計画の実現可能性** | ***・提案書本文＞［本文］***  ***２．成果の実用化・事業化に向けた計画*** |
| 国民生活や**社会への波及効果** | ***・提案書本文＞［本文］ 　　１-１. 研究開発の内容（１）研究開発の概要、背景、　　　　　　必要性等***  ***２．成果の実用化・事業化に向けた計画*** |
| **ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況** | | ***・提案書本文＞（別添４）ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況*** |